

令和7年
2025年

3月5日
水曜日

第11664号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】 株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



日本ICMJが開催され、大学対抗部門は北海道大学が制した……P2

▶日本ICMJ、大学対抗部門では北海道大学が4連覇達成、個人総合部門では日本大学の本多遥香さんが第1位に輝く……P2

▶1月の牛肉輸出は前年比5・8%増、最大輸出先は米国……P3

▶畜産物卸売価格・2月]和牛去勢A4価格は前年同期比35円高……P3

▶[豚肉調製品輸入通関・1月]シーズンなど合計8085tで減少……P4

▶ランピースキン病ワクチン接種県由来の牛肉の米国への輸出停止措置の解除に関してー農水省……P5

▶プリマハムがはっしー氏監修メニューをホテルニューオータニで提供……P5

▶[人事異動]スターゼン(4月1日付)……P5

▶オランダ、政府による畜産農家への廃業支援などで豚飼養頭数が減少……P6

▶【輸入副生物現物相場】決算期で投げ物一部荷余り感は少ないが春先に向けて先行き不透明感高まる……P7

▶伊藤ハムと米久が食肉加工品と調理食品を価格改定、5月から2~23%……P7

▶[資料]2025年食肉産業展セミナー案内……P8

▶[資料]畜産物卸売価格の推移……P9

▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]4日……P10

▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]4日……P11

注目のヘッドライン

日本ICMJ、大学対抗部門では北海道大学が4連覇達成、個人総合部門では日本大学の本多遥香さんが第1位に輝く

…詳細はP2

食肉産業展が3月11日開幕、来場受付中

第49回食肉産業展2025が3月11日から14日までの4日間にわたって、東京ビッグサイト(東7ホール)にて開催されます。来場には事前登録が必要です。QRコードから来場受付フォームに入力をお願いいたします。皆様のご来場をお待ちしております。



食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

日本ICMJ、大学対抗部門では北海道大学が4連覇達成 個人総合部門では日本大学の本多遥香さんが第1位に輝く

全日本大学対抗ミートジャッジング競技会(日本ICMJ)実行委員会(井尻大地会長=鹿児島大学共同獣医学部畜産学科准教授、上写真)が主催する「第17回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」が2月26~28日、東京都内で開催された。競技の結果、大学対抗部門(650点満点)では北海道大学(554・5点)が優勝し、4連覇を達成。第2位には帯広畜産大学(547点)、第3位に日本大学(543・3点)となった。

個人総合部門(650点満点)は、日本大学3年生の本多遥香さん(451・7点=下写真)が第1位に輝いた。本多さんは「まさか自分が総合優勝できるとは思っていなかったもので、大変驚いている。日大から今回出場した3人、さらに昨年出場した1人と、4人で力を合わせて毎日勉強してきたので、その成果を発揮できてうれしい。周りの方に支えていただき、感謝の気持ちでいっぱい」と喜びのコメント。卒業後は肉牛生産農家に就職予定であることを明かし、将来も業界で力を発揮していくことを誓った。

さらに牛部門(300点満点)は北海道大学の大垣沙良羅さん(275点)、豚部門(200点満点)は同じく北海道大学の井上桜さん(178点)がそれぞれ第1位になったほか、部分肉・精肉部門(150点満点)は日本大学の土井実乃梨さん(150点)が満点での第1位となった。そのほか、今回から新設された、牛・豚の枝肉取引価格および食肉全般に関する設問が出題される基礎知識部門(50点満点)では北海道大学の飯田はるかさん(45点/50点満点)が第1位となったほか、個人総合部門に基礎知識部門を加えた日本食肉科学会理事長賞(700点満点)には北海道大学の井上桜さん(604点)が選ばれた。

同競技会は、食肉格付に関する体験的学習および同じ分野を志す学生相互の学術的な交流を通じて、畜産業や食肉産業の社会的役割や魅力に対する学生の理解増進を図り、もってわが国の将来を担う人材育成に資することを目的としている。参加学生には食肉格付の理論や評価技術に関する現場学習の機会や産業界との交流の機会および学生によるグループ討論とプレゼンテーションの機会を提供。また、成

績優秀者を日本代表チームとして豪州ICMJに派遣し、海外の食肉市場に対する理解と見識を深める機会、国際コミュニケーション能力を高める機会などを提供する。

26日には国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区)で開会式と特別講演が行われ、

27日には東京食肉市場(港区)で牛、豚、部分肉・精肉部門それぞれの競技が行われ、28日には食肉産業セミナーならびに表彰式とレセプションが開かれた。閉会式で井尻会長は「参加された選手の皆さんは、今回実際に枝肉をみて、また食肉産業に関わる皆さんの話をきく機会を得て、どのように感じただろうか。私は鹿児島大学に所属しているが、本学における教育を省みると、家畜を育てることや得られた畜産物そのものに関する教育は非常に充実している半面、食肉をどう得て、また得られた食肉がどのように流通しているのかについて、教育機会が不足していることを痛感している。食料生産や食料需給の観点においては、食肉が消費者にどう届いているかを知ることは非常に重要だ。選手の皆さんが今回実際に経験して得たものが、今後の畜産業ならびに食肉産業において、非常に大きな力になる」とメッセージを贈った。



1月の牛肉輸出は前年比5・8%増、最大輸出先は米国

財務省貿易統計によると1月の国産牛肉輸出量は638t(前年同月比5・8%増)と、前年同月を上回り、前月比では63・9%の減少となった。

輸出先国は合計33カ国・地域で、国別にみると米国が最も多く184t。次いで、香港、台湾、タイ、カンボジア、マレーシア、シンガポール、マカオと続く。表記以外のその他の国はオランダ、ベトナム、英国、カ

ナダ、ドイツなど。

1月分輸出額は41億794万円(1・8%減)となり、キロ当たりの輸出単価は6441円。輸出内訳は冷蔵284t(1・9%減)、冷凍354t(12・9%増)。金額ベースは冷蔵が前年比4・6%増、冷凍が7・7%減。

2025年1月の牛肉輸出状況

単位:キロ、円、%

	香港	米国	カナダ	カンボジア	マカオ	シンガポール	タイ	台湾	その他国	合計
	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計		
2024年累計	1,457,988	2,138,636	95,635	901,317	199,869	545,818	711,601	2,094,296	1,967,917	10,113,077
前年比	95.9%	187.2%	108.9%	79.6%	140.6%	100.3%	150.0%	123.8%	116.8%	120.1%
2024年1月	93,924	129,025	6,662	42,333	20,912	36,552	53,969	108,089	111,321	602,787
2月	106,221	195,190	8,890	75,398	6,407	40,718	20,912	114,096	126,697	694,529
3月	109,950	105,922	9,383	96,112	8,851	43,304	42,641	180,855	174,134	771,152
4月	119,742	102,543	5,601	95,206	15,243	39,566	63,942	210,433	126,716	778,992
5月	95,420	90,606	7,563	25,478	15,103	41,019	26,046	137,164	114,502	552,901
6月	101,840	104,383	7,050	63,414	15,164	43,356	64,800	184,507	187,379	771,893
7月	126,184	84,567	9,772	53,919	10,297	45,565	44,538	186,096	186,915	747,853
8月	96,559	114,269	5,361	59,356	21,576	41,357	84,125	201,243	140,972	764,818
9月	148,383	159,276	5,669	82,831	14,282	41,270	100,588	180,022	188,821	921,142
10月	134,727	139,379	13,220	34,092	25,847	45,898	64,294	162,626	189,009	809,092
11月	172,858	151,958	7,838	88,228	22,207	56,168	85,096	173,067	173,693	931,113
12月	152,180	761,518	8,626	184,950	23,980	71,045	60,650	256,098	247,758	1,766,805
2025年1月	88,177	183,936	6,208	63,914	22,094	24,068	65,415	83,921	100,038	637,771
前年同月比	93.9%	142.6%	93.2%	151.0%	105.7%	65.8%	121.2%	77.6%	89.9%	105.8%
kg単価(円)	5,145	6,929	9,138	7,558	6,065	6,618	4,819	5,324	7,843	6,441
2025年累計	88,177	183,936	6,208	63,914	22,094	24,068	65,415	83,921	100,038	637,771
前年同期比	93.9%	142.6%	93.2%	151.0%	105.7%	65.8%	121.2%	77.6%	89.9%	105.8%

畜産物卸売価格・2月] 和牛去勢A4価格は前年同期比35円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた3月の畜産物卸売価格の推移(9面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は128万3400頭(前年同月比6・6%減)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が634円(25円高)、大阪が580円(90円高)。成牛のと畜頭数は8万520頭(4・0%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2290円(35円高)、交雑牛B3が1529円(16円安)となった。

[豚] 全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が5万1013頭(14・0%減)、中旬が5万8133頭(9・8%減)、下旬が7万420頭(23・2%増)。東京の価格は上旬が668円(24円高)、中旬が619円(14

円高)、下旬が612円(35円高)で、大阪は上旬が585円(107円高)、中旬が603円(101円高)、下旬が553円(62円高)となった。

[牛] 全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が3903頭(3・0%増)、中旬が4030頭(4・5%増)、下旬が4192頭(29・9%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2276円(12円安)、中旬が2291円(49円高)、下旬が2302円(79円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1551円(49円高)、中旬が1521円(47円安)、下旬が1522円(49円安)となった。

【豚肉調製品輸入通関・1月】 シーズンドなど合計 8085 tで減少

財務省が公表した1月分の貿易統計によると、豚肉調製品の輸入通関量は、カタを原料としたシーズンドポークを含む1602-42-090は、合計8085t(前年同月比10・2%減)と前年同月から減少した。前月からも559t減少した。国別にみると、米国が4288t(17・5%減)、チリが1344t(75・0%増)、メキシコは1056t(78・0%増)、カナダは586t(45・4%減)となった。

カタ・モモ以外を原料とした1602-49-290の合計は4158t(13・9%増)となった。国別では、米国が2417t(4・5%増)、中国が836t(19・4%増)、デンマークが617t(44・5%増)、メキシコが154t(39・9%増)、タイが100t(23・0%増)となった。

また、表記以外のモモ肉およびこれを分割した1602-41-090は、米国465t、中国48t、タイ12tなど、5カ国から合計544t輸入された。

1602.42-090 カタを原料としたもの

単位:トン

	カナダ	アメリカ	チリ	メキシコ	オランダ	デンマーク	その他計	合計
2023年計	14,418	74,098	8,124	10,415	3,619	14,800	8,578	134,052
2024年計	14,103	68,627	10,857	9,125	43	8,819	5,584	118,133
前年比	97.8%	92.6%	133.6%	87.6%	1.2%	59.6%	65.1%	88.1%
2024年1月	1,074	5,197	768	593	19	805	549	9,006
2月	998	3,972	744	440	0	732	534	7,420
3月	1,440	3,206	1,224	550	24	1,125	407	7,975
4月	1,292	9,815	863	1,187	0	806	632	14,595
5月	1,637	5,571	864	859	0	928	824	10,682
6月	1,236	6,600	946	571	0	765	295	10,413
7月	1,410	6,549	672	1,231	0	662	207	11,020
8月	1,218	5,272	1,152	988	0	781	207	10,097
9月	1,143	6,001	648	660	0	735	469	9,656
10月	973	5,700	1,104	836	0	809	288	9,917
11月	1,195	4,952	864	572	0	434	691	8,708
12月	488	5,793	1,008	638	0	237	480	8,644
2025年1月	586	4,288	1,344	1,056	0	0	771	8,085
前年同月比	54.6%	82.5%	175.0%	178.0%	0.0%	0.0%	140.4%	89.8%
2025年累計	586	4,288	1,344	1,056	0	0	771	8,085
前年同期比	54.6%	82.5%	175.0%	178.0%	0.0%	0.0%	140.4%	89.8%

1602.49-290 カタ・モモ以外を原料としたもの、混合を含む

単位:トン

	中国	デンマーク	アメリカ	タイ	オランダ	メキシコ	その他計	合計
2023年計	8,597	3,180	20,614	1,290	1,149	1,001	230	36,061
2024年計	9,438	4,489	25,713	1,455	122	1,115	259	42,600
前年比	109.8%	141.2%	124.7%	112.7%	10.6%	111.4%	112.8%	118.1%
2024年1月	701	427	2,313	82	0	110	17	3,649
2月	605	157	1,628	95	0	42	14	2,541
3月	601	320	2,378	134	0	88	10	3,532
4月	938	393	1,587	99	16	132	21	3,185
5月	710	316	3,146	138	47	43	24	4,423
6月	779	657	2,417	79	0	76	5	4,012
7月	923	146	1,537	132	0	98	7	2,844
8月	522	487	1,727	94	0	66	24	2,920
9月	580	473	1,205	102	14	108	19	2,502
10月	870	136	1,733	159	14	88	29	3,027
11月	606	269	1,293	92	31	44	41	2,377
12月	767	89	2,332	150	0	66	24	3,429
2025年1月	836	617	2,417	100	0	154	24	4,158
前年同月比	119.4%	144.5%	104.5%	123.0%	-	139.9%	143.9%	113.9%
2025年累計	836	617	2,417	100	0	154	24	4,158
前年同期比	119.4%	144.5%	104.5%	123.0%	-	139.9%	143.9%	113.9%

ランピースキン病ワクチン接種県由来の牛肉の 米国への輸出停止措置の解除に関してー農水省

農水省は4日、ランピースキン病ワクチン接種県由来の牛肉の米国への輸出停止措置の解除に関する情報を発表した。

米国は、昨年12月19日以降、ランピースキン病ワクチンの接種を行う都道府県由来の牛肉について、輸入を停止してきた。これを受け、米国当局に早期の輸入停止措置の解除を求めて協議を行ってきたとこ

ろ、このほど、米国当局はワクチンのリスク評価を終え、輸入停止措置の解除に合意した。

今後、ワクチン接種の有無にかかわらず、全ての都道府県の牛肉について、米国と手続き面での調整を終え次第、動物検疫所において、米国向け輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開する。

プリマハムがはっしー氏監修メニューをホテルニューオータニで提供

プリマハムは4月30日までの期間限定でホテルニューオータニとコラボレーションし、グルメプレゼンターのはっしー(橋本陽)氏監修の、「香薫あらびきポークウインナー」を使用した春メニューを、対象レストランのビュッフェで提供している。長きにわたって家庭料理の定番として活躍してきた香薫が今春ホテルニューオータニに登場し、SNSの総フォロワー数が約60万人のはっしー氏のアイデアとホテルシェフの技により、香り豊かな味わいはそのままに、新感覚でリッチなメニューを楽しめる。

ホテルニューオータニ(東京)のティー&カクテル「ガーデンラウンジ」では、人気のスイーツビュッフェに、ボリューム満点のタコスが登場。香り豊かな香薫と軟らかな春キャベツの組み合わせがたまらない一品で、タコミートにも香薫が使われ、まさに香薫尽くしだ。



ホテルニューオータニ(東京)のティー&カクテル「ガーデンラウンジ」、ホテルニューオータニ大阪のオールデイダイニング「SATSUKI」では、ホテルの^{だいがみ}醍醐味ともいえる朝食ビュッフェで、香薫と共に特製ソースを味わえる。桜えびをアクセントに、ビーツで色付けした桜色のマヨネーズソースに香薫をデイップ。ほんのりガーリックが香る「エビマヨソース」が、粗びきポークウインナーの味わいを存分に引き出す。

【人事異動】 スターゼン (4月1日付)

営業本部九州統括部副統括部長兼北九州営業所長(営業本部九州統括部山口営業所長) 金子大樹

[訂正] 本紙4日付表紙に使用した、「横浜市場の関東東海フェア」開催の画像が誤っておりました。おわ

びして訂正します。

オランダ、政府による畜産農家への廃業支援などで豚飼養頭数が減少

オランダ中央統計局によると、2024年の同国の豚飼養頭数は前年比2.5%減となった(上図)。オランダでは、環境規制の強化などにより豚飼養頭数は減少傾向で推移しているが、23年からは窒素の排出削減を目的としてオランダ政府が実施した畜産農家への廃業支援などにより、養豚生産者数の減少も続いている。

23年7月～24年12月に申請を受け付けていた畜産農家に対する廃業支援策(LbvおよびLbv-plus)は、ナチュラ2000(Natura2000)指定地とその周辺などの畜産農家を対象に、畜舎などの解体費用の補助や生産権の買い取りを行うものであり、オランダ政府によると、期日までに1587件の申請があったとされる。今後、政府が申請内容を審査した上で、半年以内に全ての手続きが完了する見込みとされており、最終的に政府の廃業支援を受けることが確定した生産者は28カ月以内に畜舎などの解体・撤去を終わる必要がある。そのほか、オランダでは、19～20年に臭気対策として養豚生産者の廃業支援を行い、これにより278戸が廃業した。また、24年8月には、畜産農家の廃業や移転支援(29年まで)に7億ユーロ(1133億円:1ユーロ=161.86円)の予算を充てることを欧州委員会が承認している。

LbvおよびLbv-plusにより廃業申請のあった養豚生産者数を州別にみると、主要豚肉生産地域である北ブラバント州などの南東部で申請者数が多く、リンブルフ州では同州の養豚生産者の50.2%が廃業申請を行った(下図)

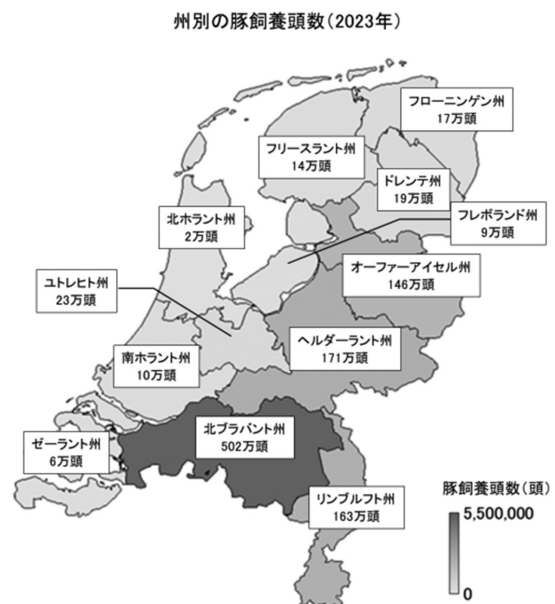
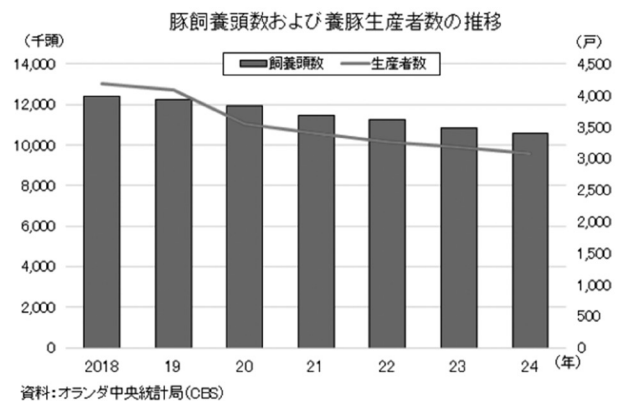
25年2月12日には、同州で六つの養豚場を運営するオランダ最大規模の養豚生産グループ(飼養頭数:繁殖用雌豚5千頭、肥育豚4万5千頭)が政府の廃業支援を活用して年内に廃業すると発表した。廃業の理由として同グループの代表は、効率的な養豚のために規模を拡大してきたものの、近年の環境規制やアニマルウェルフェアに関する基準の厳格化により、大規模生産者が不利な立場に置かれていると感じており、今後の養豚経営への見通しが立たないことを挙げている。

現地報道などによると、今回の廃業支援でオランダ国内の18%の生産者が廃業する見込みであり、廃

業する生産者の経営規模は不明としつつも、豚飼養頭数は12～15%程度減少すると見込まれている。

同国中部の治水施設の管理などを行う行政組織である水管理委員会は25年2月12日、畜産農家への廃業支援により多くの生産者が廃業することで、環境面などへの影響を懸念する声明を発表した。

同委員会がヴィアースマ農相などに宛てた書簡の中で、畜産農家が廃業し牧草地が減少することにより①耕作地への転換は土壌の水分保持能力の劣化②果樹園への転換はかんがい用水の利用増加③球根栽培への転換は農薬散布量増加による水質悪化の可能性一があるとしている。そのため政府に対して、達成すべき目標を明確にした上で、牧草跡地の適切な利用に向け政府が主導的に取り組むことを求めている。(農畜産業振興機構)



【輸入副生物現物相場】

決算期で投げ物一部荷余り感は少ないが春先に向けて先行き不透明感高まる

3月の決算期を迎え、在庫整理を行う企業も多く、ラージやシン・シックなどの一部アイテムには投げ物も散見される。しかし、主要焼き材は在庫がさほど積み上がっているという話は少なく、むしろ足りないという声もきかれる。ただ、為替レートは米国トランプ大統領が中国・メキシコ・カナダへの関税措置を発動したほか、日本に対しても追加関税について言及したこともあり、足元では140円台後半まで円高に振れている。このため、年初は円安を想定して早めの在庫確保に動いていた企業も多かったようだが、この状況が続くのであれば次回入船分以降のコストはやや下がるのではという見方も出てきた。現状、米国産は供給不足のため、タン、アウトサイドスカート、ハンギングテンダーの主要焼き材は軒並み品薄感から高値推移の状況が続いており、これからGWから夏場に向けて一段高の展開が見込まれていたが、今後の為替動向次第で価格はやや落ち着きをみせるか。

白物は3月も寒さが続いているが、量販店の売り場も焼き材が徐々に目立つようになり、鍋物需要はピークアウトの様相で、弱もちあい。ただ、加工需要や売り場の値頃感を出す

ために、味付けホルモンなどのパック販売を行う量販店などからの需要は一定数あり、下値は底堅い。

【輸入副生物現物相場】

円/キロ、税抜き

	商品名	原産地	規格	価格	気配
フ ロ ー ズ ン	牛タン	米国	グラス	2500~2600	↑
		豪州		2100~2200	→
		欧州		1950~2050	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス	2000~2100	↑
			プライム	-	-
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス	3100~3300	↑
			プライム	-	-
			メキシコ	1700~	→
	シンスカート、シックスカート	豪州	バルク	~1100	↓
	シンスカート(皮なし)	豪州		1500~	→
	レバー	豪州		320~	-
		米国		350~	→
	トライプ	-	1.5UP	-	→
		豪州	700gUP 500gUP	- -	→ →
	スモール	米国		500	→
ラージ	米国		650~700	→	
	豪州		680~720	→	
アキレス	米国		1200	↑	
テール	豪州		1000~1400	↑	
メンブレン	豪州		600~	↑	
チ ル ド	牛タン	米国	グレイン	2600~2800	↑
		豪州		2500~2700	→
	牛タン(ムキタン)	米国		4200~4600	↑
		豪州		-	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス	2100~2300	↑
			プライム	2400~2700	→
アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス	3300~3500	↑	
		プライム	3500~	-	
	メキシコ		-	→	

伊藤ハムと米久が食肉加工品と調理食品を価格改定、5月から2~23%

伊藤ハム米久ホールディングスは2月28日、伊藤ハムと米久が5月1日からハム・ソーセージおよび調理加工食品の納品価格の改定、商品規格の変更を行うと発表した。

伊藤ハムの価格改定商品は、ハム・ソーセージ、調理加工食品(乳製品を含む)60品目(家庭用ハム・ソーセージ15品目、家庭用調理加工食品25品目、業務用商品20品目)、改定率は2~18%。

米久の価格改定商品は、ハム・ソーセージ、調理加工食品35品目(家庭用ハム・ソーセージ15品目、

家庭用調理加工食品10品目、業務用商品10品目)、改定率は2~23%。

伊藤ハムと米久の合計で95品目が対象となる。今回の価格改定について両社は「原材料費や人件費および物流費の上昇が依然として継続している。効率化・合理化などによる企業努力を続けてきたが、自助努力だけではコスト上昇分を吸収することは極めて困難な状況に至った。引き続き安全・安心な商品を届けるため、品質のさらなる向上やコスト削減の企業努力を続けたい」と説明、理解を求めている。

第49回
2025食肉産業展
2025 Japan Meat Industry Fair 49th.



食肉情報セミナー

受講申込受付中!

会期◎2025年
3月11日(火)→14日(金)

会場◎東京ビッグサイト
(東京都江東区有明3-11-1)
アクセス:ゆりかもめ・東京ビッグサイト駅(徒歩約3分)りんかい線・国際展示場駅(約7分)

食肉業界唯一・最大のイベント「第49回食肉産業展2025」が3月11日から14日までの4日間、東京ビッグサイトで開催されます。49回目となる本展示会の主催者企画では、食肉に関する様々なテーマで食肉情報セミナーを開催します。ぜひ受講をお申し込みください。

■ **食肉情報セミナー** (受講料無料・各先着 30名) ※定員になり次第募集は終了

日時	会場	プログラム	
3月11日 11:00 ~ 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	牛肉、豚肉輸出の現状と各市場の動向について 講師：農林水産省畜産局食肉鶏卵課食肉需給対策室 課長補佐(食肉貿易班担当) 藤谷洋平	和牛をはじめとした国産食肉の輸出については、官民一体となったさまざまな取り組みもあり、着実に伸長しています。国産牛肉、豚肉の輸出の現状と世界各市場の動向について紹介します。
3月11日 15:00 ~ 15:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	畜産物の輸出促進について(牛肉を中心に) 講師：一般社団法人日本畜産物輸出促進協会 専務理事 川島俊郎	日本産畜産物のオールジャパンでのプロモーションや輸出に関する情報収集・提供を行う同協会の活動方針や取り組み、現在の輸出状況や今後の方向性などについて紹介します。
3月12日 11:00 ~ 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	物価上昇下の食肉販売の現状と物流2024問題への業界の取組を追う 講師：公益財団法人日本食肉流通センター 情報部 部長 安藤松太郎	食肉業界の販売動向や「物流の2024年問題」の対応状況について、食肉事業者に加えて、運送業者、大手食肉加工メーカーの物流担当者及び冷蔵倉庫業者へのきき取りを基に紹介します。
3月12日 15:00 ~ 15:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	ミートジャーナル特別企画 混迷する時代の明日のミートマーケットを読む 講師：有限会社ブリッジインターナショナル 代表 高橋 寛	月刊「ミートジャーナル」執筆中の著者による特別企画。穀物高、燃料高、為替、戦争、異常気象、疫病など、さまざまな問題を抱える食肉業界の近未来のマーケット動向を探ります。
3月13日 11:00 ~ 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	食肉産業の即戦力を育成する 講師：公益社団法人全国食肉学校 学校長 小原和仁	自社が求める即戦力は、外部の経験者を求めてもその獲得は困難です。たとえ遠回りのように見えても、自社の社員を育成するのが結果的に早道になります。全国食肉学校は食肉産業が求める人材を育成します。
3月14日 11:00 ~ 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	細胞性食品の現状と今後の可能性について 講師：細胞農業研究機構 代表理事 吉富愛望アビガイル	細胞農業領域のルール形成に特化した国内唯一の団体の代表理事が細胞性食品の現状や日本市場における今後の可能性などを探ります。

講師の都合により、講師変更および講演中止の可能性もございます。

注※セミナーの受講は、事前に来場登録が必要です。

登録後にFOODEXホームページの出展者セミナー申し込みフォーム
(https://www.jma.or.jp/foodex/seminar/exhibitor_01.html)
からお申し込み下さい。



お問い合わせ

食肉産業展実行委員会事務局 TEL 03-6206-0929

畜産物卸売価格の推移

(令和7年2月)
単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上					牛肉			全国と畜 頭数		鶏卵 東 京	鶏肉 東 京	
	東京		大阪		加重 平均 価格	東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	価格	頭数		和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
6年 1月	493	5,857	486	627	492	2,315	1,515	866	1,414,172	85,166	180	729	396
6年 2月	609	6,192	490	681	597	2,255	1,545	845	1,374,654	83,898	190	710	391
上 旬	644	2,099	478	233	628	2,288	1,502	871	59,300	3,788	183	715	393
中 旬	605	2,049	502	216	596	2,242	1,568	856	64,414	3,856	189	711	391
下 旬	577	2,044	491	232	568	2,223	1,571	825	57,156	3,228	200	703	387
7年 1月	598	5,980	521	410	593	2,234	1,523	1,072	1,404,118	86,120	258	770	422
7年 2月	634	6,214	580	411	631	2,290	1,529	1,130	1,283,400	80,520	315	772	415
上 旬	668	2,105	585	112	664	2,276	1,551	1,137	51,013	3,903	313	776	417
中 旬	619	2,358	603	151	618	2,291	1,521	1,120	58,133	4,030	315	772	414
下 旬	612	1,751	553	148	608	2,302	1,522	1,130	70,420	4,192	317	768	413
1日(水)									2,500	-	-	779	424
2日(木)													
3日(金)	623	305	580	21	620	2,222	1,544	-	67,100	4,820	305	774	419
4日(土)	632	303	577	16	629	2,277	1,557	-	69,200	4,150	315	780	417
5日(日)	632	305	567	41	624	2,271	1,527	-	64,000	4,570	315	-	-
6日(月)	639	315	591	13	637	2,302	1,532	1,154	65,600	4,100	315	777	415
7日(火)	768	573	-	-	768	2,291	1,608	-	66,600	4,400	315	771	413
8日(水)									2,100	400	-	774	416
9日(木)													
10日(金)	628	304	628	21	628	2,246	1,490	1,135	71,000	4,880	315	775	417
11日(土)									29,200	450			
12日(日)	623	344	671	1	623	2,254	1,535	1,145	73,600	4,840	315	-	-
13日(月)	614	355	646	1	614	2,316	1,528	-	71,300	4,340	315	768	416
14日(火)	623	356	596	37	620	2,277	1,491	1,149	66,900	4,390	315	770	412
15日(水)									4,800	-	-	774	415
16日(木)													
17日(金)	613	322	614	38	613	2,279	1,523	972	68,700	5,040	315	776	411
18日(土)	635	323	648	9	635	2,320	1,540	-	70,900	4,630	315	773	415
19日(日)	607	259	584	47	603	2,299	1,502	-	68,000	4,660	315	-	-
20日(月)	618	399	617	18	618	2,267	1,514	-	69,800	3,890	315	771	415
21日(火)	628	309	-	-	628	2,296	1,503	1,126	68,300	4,270	315	764	410
22日(水)												778	420
23日(木)													
24日(金)													
25日(土)	602	333	640	20	604	2,333	1,450	-	74,700	4,540	315	767	413
26日(日)	625	298	528	80	604	2,293	1,534	-	70,700	4,370	315	-	-
27日(月)	602	447	603	9	602	2,312	1,529	1,152	70,000	3,660	320	769	412
28日(火)	610	364	547	39	604	2,282	1,556	-	68,400	4,120	320	761	409

注1) 当月の価格及び頭数は速報値
 注2) 牛肉の価格は、生体及び搬入の加重平均(全て瑕疵含む)
 注3) 「-」は取引無し

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月4日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 89頭	高値	3,342	2,448	2,270	-	-
		安値	2,322	2,219	1,944	-	-
		平均	2,604	2,323	2,169	1,736	-
	頭数	56	22	10	1	-	
	雌 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	頭数	-	-	-	-	-	
	去 A 162頭	高値	3,299	2,517	2,350	1,879	-
		安値	2,305	2,233	1,931	1,689	-
		平均	2,641	2,360	2,203	1,790	-
	頭数	98	45	17	2	-	
去 B 2頭	高値	-	-	-	1,407	-	
	安値	-	-	-	1,404	-	
	平均	-	-	-	1,406	-	
頭数	-	-	-	2	-		
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 12頭	平均	-	1,623	1,523	1,395	-
		頭数	-	4	4	4	-
	雌 C 2頭	平均	-	-	-	1,297	-
		頭数	-	-	-	2	-
	去 B 38頭	平均	-	1,602	1,534	1,409	-
		頭数	-	5	17	16	-
去 C 6頭	平均	-	-	1,446	1,315	-	
頭数	-	-	-	2	4	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	399 403	897 1,050	- 61.5	(競り)	(相対)	73

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,489	1,511	1,434	1,374	-
	B	-	-	-	1,313	-
和 去	A	3,402	2,326	-	-	-
	B	-	-	-	1,247	-
乳 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	863	873
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	696	756	701	648	556
	安値	616	583	550	443	346
	平均	643	612	593	548	470
	頭数	(10)	(350)	(374)	(210)	(106)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

[大阪食肉卸売市場] 3月4日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,580	2,314	-	-	-
(頭数)	(8)	(8)	(3)	(5)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(1)	(-)	(3)	(3)	(-)
和 去 A	2,515	2,240	-	-	-
(頭数)	(26)	(18)	(-)	(-)	(-)
B	-	2,287	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,667	1,573	-	-
C	-	-	1,570	-	-
交雑去 B	-	1,621	1,576	-	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	527	508	418	281

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	3月4日	3月3日	(3月累計)
豚	67,000	65,900	132,900
成牛計	4,590	4,700	9,290
和牛雌	940	980	1,920
和牛去勢	1,440	1,470	2,910
乳牛雌	860	420	1,280
乳牛去勢	460	680	1,140
交雑雌	420	380	800
交雑去	440	760	1,200

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 3月4日

	1,444円	(前日 1,476円)
東京		
大阪	1,576円	(前日 1,426円)

[豚・全農建値] 3月4日

上	中	取引頭数	市況
618円	600円	1,189頭	急伸

と畜 売買	牛 45頭	豚 175頭	牛概況 強もちあい
	牛 101頭	豚 77頭	豚概況 反落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月4日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	6,030	-	もちあい
仙台 [中]	564 (565)	531 (525)	514	80	小反落
宇都宮 [地]	- (645)	- (592)	-	-	休市
茨城 [地]	610 (614)	587 (592)	1,136	673	小反落
群馬 [地]	631 (601)	523 (520)	2,147	348	続伸
さいたま [中]	629 (600)	619 (587)	166	170	続伸
東京 [中]	612 (600)	593 (585)	897	1,050	反発
横浜 [中]	614 (-)	589 (-)	640	593	もちあい
山梨 [地]	661 (-)	645 (-)	130	52	反発
浜松 [地]	591 (606)	561 (550)	310	40	下押し
名古屋 [中]	571 (616)	533 (560)	883	249	下押し
京都 [中]	619 (624)	602 (621)	123	78	もちあい
大阪 [中]	527 (613)	508 (562)	175	51	反落
神戸 [中]	691 (-)	700 (-)	-	151	-
岡山 [地]	629 (645)	618 (610)	270	242	弱気配
広島 [中]	604 (580)	567 (551)	243	30	急騰
福岡 [中]	580 (595)	550 (564)	476	131	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 2月25日～3月3日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,597,393 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,069	1,186	1,256	1,173	79,176
うで	729	798	824	781	131,043
ロース	1,059	1,115	1,194	1,123	153,699
ばら	1,134	1,197	1,279	1,211	161,862
もも	747	769	810	769	225,733
ヒレ	1,177	1,186	1,188	1,183	14,046
セット	954	1,037	1,085	1,024	831,834

◇近畿圏 総重量 751,677 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,180	1,286	1,323	1,277	58,565
うで	702	745	772	739	129,061
ロース	1,086	1,179	1,219	1,164	99,826
ばら	1,179	1,254	1,301	1,240	132,813
もも	725	751	799	753	165,478
ヒレ	1,086	1,188	1,318	1,177	10,808
セット	919	963	1,051	976	155,126

[食鳥正肉日経相場] 3月3日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	702	748	868	169
ムネ	362	393	508	132

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	694	749	1,030	8
ムネ	367	414	590	4

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月3日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,009	611	550	600	650
安値	724	378	290	360	350
平均	769	410			

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

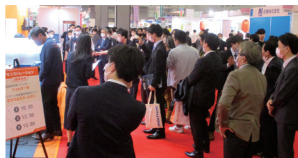
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

◆知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。